

大災害はいつ起きてもおかしくない

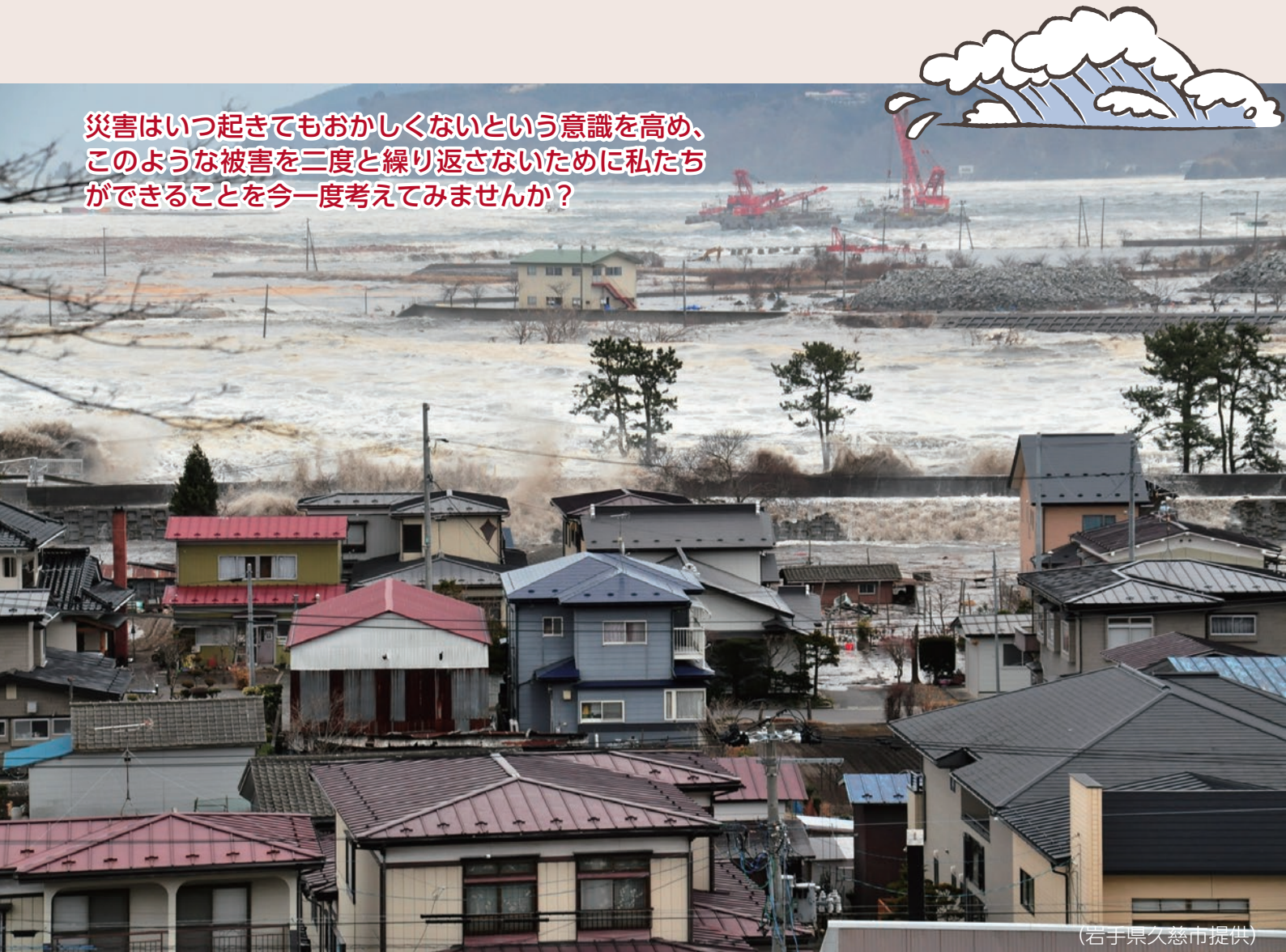
→沖縄県は地震が来ないはずがい!!

今から250年前以上前の1771年石垣島近海でM(マグニチュード)7.4の地震が発生しました。

この地震で八重山地方全体で約12,000人が死亡しています。長い歴史で見ると大地震は約200年～400年ごとに繰り返し起きており、2022年には震度1以上の観測した地震の

回数は沖縄が全国第9位の多さとなっています。また、2011年3月11日午後2時46分に東北地方の太平洋沖を震源として、発生したM9.0の超巨大地震では、死者19,775人、行方不明者2,550人(令和6年3月8日、総務省消防庁発表)の被害が出ました。

災害はいつ起きてもおかしくないという意識を高め、このような被害を二度と繰り返さないために私たちができることを今一度考えてみませんか？



(岩手県久慈市提供)

地震が発生したら

まず地震が発生したら安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かない」が原則です。地震から身の安全を確保したら余震にも注意しつつ、次に備えなければならぬのは「津波」です。



(岩手県久慈市提供)